

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和5年12月22日時点

開催日時	開催形式（場所）	名称
1月12日（金） 13:00～17:15	講堂	公開シンポジウム「AIが拓く創薬と医療の未来」
1月21日（日） 12:00～16:00	オンライン開催	公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」
1月22日（月） 13:00～17:10	ハイブリッド開催 （講堂）	公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム 2023」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

2023年度 日本学術会議・日本薬学会  
主催シンポジウム

# AIが拓く 創薬と医療の未来

日時 2024年1/12(金)  
13:00~17:15

場所 日本学術会議講堂  
(東京都港区六本木7-22-34)

WEB <http://sympo240112.umin.jp/>  
参加希望の方は上記URLもしくは  
QRコードから事前登録をお願いします

参加費  
無料



座長 一條 秀憲  
(日本学術会議連携会員、東京大学大学院  
薬学系研究科細胞情報学教室教授)

深見 希代子  
(日本学術会議連携会員、  
東京薬科大学名誉教授・生命医学科客員教授)

実行委員長 深見 希代子  
(日本学術会議連携会員、  
東京薬科大学名誉教授・生命医学科客員教授)

司会 清宮 啓之  
(公益財団法人がん研究会がん化学療法センター  
分子生物治療研究部部長)

主催  公益社団法人日本薬学会  
The Pharmaceutical Society of Japan

 日本学術会議  
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

共催 日本生命科学アカデミー

シンポジウム事務局 公益財団法人がん研究会  
がん化学療法センター分子生物治療研究部  
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31  
お問合せ先:sympo240112@mos-jp.com

## プログラム

13:00 開会挨拶  
一條 秀憲 (日本学術会議連携会員、  
東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室教授)  
岩淵 好治 (公益社団法人日本薬学会会頭)

## 第1セッション

13:10 『産学官連携による創薬AIプラットフォームの構築  
AMED DAIIA』  
本間 光貴 (国立研究開発法人理化学研究所  
生命機能科学研究センターチームリーダー)

13:45 『アカデミアがん創薬における計算化学の活用』  
清宮 啓之 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター  
分子生物治療研究部部長)

14:20 『AIによるデータ駆動型創薬と医療』  
山西 芳裕 (名古屋大学大学院情報学研究所複雑系科学専攻教授)

休憩 (10分) (14:55~15:05)

## 第2セッション

15:05 『生成AIで紐解く多細胞システムの動作原理』  
島村 徹平 (日本学術会議連携会員、  
東京医科歯科大学難治疾患研究所計算システム生物学分野教授、  
名古屋大学大学院医学系研究科システム生物学分野特任教授  
(クロスアポイントメント))

15:40 『AIと共に実現する新しい創薬・医療のかたち』  
夏目 やよい (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所AI健康・  
医薬研究センター副センター長)

16:15 『臨床応用を志向した医療AI研究開発：  
データ駆動型研究の創薬・医療への応用』  
浜本 隆二 (国立研究開発法人国立がん研究センター研究所分野長、  
一般社団法人日本メディカルAI学会代表理事)

16:50 特別発言  
武藤 香織 (日本学術会議連携会員、  
東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター  
公共政策研究分野教授  
理化学研究所生命医科学研究センター  
生命医学倫理とコ・デザイン研究チームチームリーダー)

17:05 閉会挨拶  
長野 哲雄 (東京大学名誉教授、日本生命科学アカデミー監事)



## 公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」の開催について

1. 主 催：日本学術会議統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会  
合同行動生物学分科会
2. 日 時：令和6年（2024年）1月21日（日）12：00～16：00
3. 場 所：オンライン開催
4. 一般参加の可否：可、一般参加者の参加費の有無：無

### 5. 開催趣旨：

科学は人の活動であり、それは人間の本性の影響を様々な形で色濃く受けると考えられる。再現性は、科学において望まれる特性と考えられている。近年、幾つもの分野で問題となっている再現性の低下は望ましくないことであるが、単純に望ましくないと考えるにとどまらず、科学の再現性が人間の本性とどう関わり、人間の本性の影響をどのように受けているのかを、広い生物学的基盤を見渡して考えることが、再現性の理解に新しい視角をもたらし、再現性の確保にも寄与できる可能性が大きい。また、人間の本性を理解するためには、それを研究する科学はどのようなものであるべきかを考えるとき、どのような方法で証拠を得て再現性をどう確保するかは、欠くべからざる点であり、人間に限らずより広く生物を対象とした科学に対して持つ意味も大きい。そして、人間の本性を理解するための科学のあり方は、科学の再現性及び人間の本性の関係として重要な内容であると考えられる。

### 6. 次 第：

- 12：00 主催者挨拶・イントロダクション  
粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）
- 12：10 「心理学の再現性と一般化可能性：それが低いのはなぜなのか」  
平石 界（慶應義塾大学文学部教授）
- 13：05 「科学の再現性とデータ解析の統計的方法」  
林 岳彦（国立研究開発法人国立環境研究所主幹研究員）
- 休憩（14：00～14：10）
- 14：10 「多感覚統合からどのように心が生成するのか？」  
桜田 一洋（慶應義塾大学医学部教授）
- 15：05 人間の本性と科学の再現性についての討論  
（司会）粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）  
相馬 雅代（日本学術会議連携会員、北海道大学理学研究院生物科学部門准教授）  
明和 政子（京都大学教育学研究科教授）  
平石 界（慶應義塾大学文学部教授）  
林 岳彦（国立研究開発法人国立環境研究所主幹研究員）  
桜田 一洋（慶應義塾大学医学部教授）
- 15：29 参加者からの質疑・意見を含めて総合討論
- 16：00 閉会挨拶  
粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）

# 原子力総合シンポジウム2023

主催：日本学術会議 総合工学委員会、総合工学委員会原子力安全に関する分科会

日時 2024年1月22日(月) 13:00-17:10

場所 日本学術会議講堂/オンライン

## プログラム

開会挨拶 関村直人(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

### 招待講演

テーマ:「社会に貢献する原子力の役割と課題」

司会 森口祐一(日本学術会議第三部会員、国立環境研究所理事)

「日本のエネルギーと次世代革新炉の役割」 橘川武郎(国際大学学長)

「原子力が本当に活かすべき教訓とは

:科学技術の社会学の知見から」

寿楽浩太(東京電機大学教授)

「革新軽水炉に求められる特徴」

山本章夫(名古屋大学教授)

司会 岩城智香子(日本学術会議連携会員、東芝エネルギーシステムズ(株)シニアフェロー)

「原子力と多様性」

岡田往子(原子力委員)

「事故後12年の原子力規制の歩みと残された課題(仮)」

山中伸介(原子力規制委員長)

### 総合討論

コーディネーター 関村直人

パネリスト シンポジウムの各講演者

パネリスト 新堀雄一(日本原子力学会会長)、森口祐一、岩城智香子

閉会挨拶 小山田耕二(日本学術会議連携会員、大阪成蹊大学教授)

参加申込・問合せ先 一般社団法人日本原子力学会

<https://www.aesj.net/nationalsymp2023>

TEL03-3508-1261

